

平成25年度事業報告書

自：平成25年4月 1日

至：平成26年3月31日

・事業実施概要

日本経済は、「財政出動」「金融緩和」「成長戦略」の3本を柱とする政府の積極的な経済政策が、デフレからの脱却、株高、円安による輸出促進、雇用改善などをもたらし、緩やかな回復基調を示している。一方、この4月からの消費税率引き上げの個人消費へ与える影響等が先行き日本経済の懸念材料となっている。

乳業界においては、生乳生産が前年度を下回ったものの、カレント枠によるバターおよび脱脂粉乳の輸入により、バター・脱脂粉乳需給は大きな混乱なく推移した。しかしながら、次年度については、生乳生産回復の遅れが予測される中、カレントアクセス分の輸入を加えても乳製品需給の逼迫が避けられない状況となっており、生乳生産基盤回復に向けた取り組みの強化などが喫緊の課題となっている。

このような状況の中、平成25年度は、乳等省令の一部見直し、新食品表示制度公布、TPP交渉への参加、容器包装リサイクル法見直し、消費税率改正など新たに顕在化した課題をも踏まえ、以下の5つの重点課題への対応を柱とした取り組みを実施した。

第一：品質及び安全性の向上による消費者の安心・信頼の確保

牛乳・乳製品に対する消費者の安心・信頼を確保すべく、衛生及び品質の向上並びに放射性物質による風評被害払拭を最重点課題として、講習会等による人材の育成、乳等省令改正への協力、新食品表示制度への意見具申、各種ガイドラインの整備並びに正しい表示、法令、規則等の会員への周知に取り組んだ。

第二：牛乳・乳製品の普及啓発と需給の均衡

公益目的支出事業として、小中高生を対象とした食育授業、学校・教育・食育担当者を対象とした食育勉強会、一般消費者を対象としたおいしいミルクセミナーや工場見学会などを実施した。こうした取り組みを通して、牛乳・乳製品の価値を広く、普及啓発した。

併せて、電話相談やホームページを活用し、牛乳・乳製品の正しい知識の周知を図った。

乳製品需給に関しては、需給予測を踏まえ、安定供給に資する適切な対応を国等に要請した。

第三：国際化の進展への対応

T P P 交渉については、内閣府からの意見要望の集約依頼を受けて会員から提出いただいたものを乳協の基本スタンスとともに事務局で取りまとめ、乳業基本問題検討委員会委員に確認の上、7月17日に意見要望を提出した。

第四：環境・リサイクル対策の推進

地球温暖化防止と循環型社会形成に向けて、環境自主行動計画に取り組み、C O 2 削減に関する優良事例の紹介等会員企業間の情報交換や廃棄物削減に関する地域単位での共同プロジェクト推進などを行った。また、環境マネジメントシステムの質的向上を目的に環境委員会の環境マネジメントワーキングで作成した「環境法令・マネジメントデータベース」の会員への普及を図った。加えて、C O 2 排出量の見える化を推進するため、C O 2 排出量簡易算定ツール改良版を作成した。

容器包装3Rへの対応では、軽量化仕様500ml牛乳用パックの普及を促進するとともに、当協会として全国牛乳容器環境協議会（容環境）の取り組みを支援し、紙パック回収率の向上に取り組んだ。

第五：乳業事業の改善と合理化の推進

農林水産省が公募する「乳業再編整備事業」に応募し採択された。9月から10月に地域説明会を開催し、内容の周知徹底と再編支援を行った。

また、震災時の牛乳・発酵乳・粉ミルクの安定供給に関する3つの課題について、課題検討会で議論し最終報告書を取りまとめた。

・事業内容

1．品質及び安全性の向上による消費者の安心・信頼の確保

1) 牛乳及び乳製品の衛生並びに品質の向上に関する事業

(1) 乳業施設の衛生管理体制強化のための取り組み

衛生講習会の開催（都道府県協会との共催）

- ・7月～11月に、全国15の協会（昨年度と同数）と日本乳業協会の共催で実施した。テキストは、昨年の要望に応じて改善事例を取り入れたものに変更した。受講者数計432名(昨年477名)

官能評価員育成研修会の開催

- ・25年7月～26年3月に、東京4回、神戸2回（昨年度比で1回増）実施した。受講者数計138名 6回開催（昨年108名 5回開催）

H A C C P 専門家養成講習会の開催

- ・春期は5月に東京及び6月に神戸で実施した。受講者数計76名

- ・秋期は10月に東京及び11月に神戸で実施した。受講者数67名
受講者数計143名 4回開催（昨年142名 4回開催）

牛乳微生物講習会の開催

- ・26年1月に東京及び大阪で実施した。受講者数計132名（昨年196名）

(2) 牛乳・乳製品の安全確保に係わる取り組み

放射性物質、病原微生物、有害化学物質等対応

- ・牛乳・乳製品が原因となった健康被害又は食品衛生法違反事例は報告されていないが、放射性物質については風評被害発生予防の観点からも行政に対して不断のリスクコミュニケーションの実施をお願いしている。

会員、消費者等に対する安全確保に関する情報の提供

下記の行政情報をホームページに掲載するとともに、牛乳衛生講習会、ブロック会議にて関連情報について説明した。

- ・厚生労働省情報 乳酸塩類等の食品添加物の使用について（5月15日付）
 - ・消費者庁情報 食品表示法（6月28日付）
 - ・消費者庁情報 アレルギー物質を含む食品の表示について
（9月20日付：カシューナッツ、ごまの追加）
 - ・消費者庁情報 栄養表示基準の取扱い等について（9月27日付）
- #### Jミルクの生乳検査の精度管理制度への協力
- ・本制度の運用について必要な技術支援を行う等、協力を行った。
- #### Jミルクの生乳段階での残留農薬等の安全性確保事業への協力と製品である「牛乳」の残留農薬等の検査の実施
- ・Jミルク主催のポジティブリスト委員会で生乳段階での安全性確保事業に協力した。
 - ・生乳段階の平成25年度のポジティブリスト制度に係る検査対象物質等の検査はJミルクが11月～12月に81検体174件実施し、検査結果は全て基準値以下であった。
 - ・当協会では全国7地域で製造された実際の「牛乳」製品の残留農薬等検査を実施し、検査結果は全て基準値以下であった。

(3) 牛乳・乳製品の表示に係わる取り組み

消費者庁の食品表示規制改正作業への協力

- ・栄養表示基準一部改正のパブリックコメントに意見を提出した。
（6月5日）

関係公正取引協議会等との連携

- ・全国飲用牛乳公正取引協議会「専門部会」(4月18日、10月11日)乳製品(クリーム、バター、脱脂粉乳、全粉乳、練乳類)及び乳等を主原料とする食品の表示ガイドラインの運用
- ・公正競争規約が設定されていない乳製品等の表示ガイドラインを平成26年3月12日の乳製品表示検討委員会で、アレルギー表示及び栄養成分表示に関する改定を確認し、平成26年3月版として4月3日にホームページに公開し、発効した。
- ・平成24年度に実施した市場からの買い上げ調査による乳製品等の不適切な製品について、表示是正への意見を13社に発信して協力を求めた。(是正意見発信日:3月26日及び7月3日)
- ・乳製品表示検討委員会を11月19日に開催し、平成25年度事業として市場より市販品を買い上げ、平成26年3月12日の乳製品表示検討委員会で表示指摘事項を確認した。市場買取した39品のうち、18品目(11社)について、当該会社へ当協会からの指摘意見を3月26日に発信した。
- ・牛乳・乳製品の表示に関して会員からの問合せ対応を行った。(対応件数43件)

(4) 牛乳及び乳製品の規格基準改定に関する取り組み

厚生労働省の乳等省令改正作業への協力

- ・厚生労働省の要請に応じて協力した。

2月5日に厚生労働省の薬事・食品衛生審議会 食品衛生分科会 乳肉水産食品部会が開催され、乳等省令における生乳や牛乳の現行比重規格(1.028~1.034)の上限撤廃、成分調整牛乳の酸度規程を現行の0.18%以下を0.21%以下に修正する等の省令改正について食品安全委員会に諮問することを了承された。

これらの内容は3月31日の食品安全委員会です承され、厚生労働省は乳等省令改正のための所定の手続き(既述部会の開催、パブリックコメント)に入ることになった。

上記以外の主な改正内容は以下のとおり。

発酵乳であって、発酵後殺菌するものについては「乳酸菌数または酵母数」の成分規格を適用しないこと(殺菌発酵乳を認める)。

発酵乳、乳酸菌飲料及び乳飲料の製造方法の基準における原料の殺菌条件については牛乳と同様とする(現行の殺菌条件の食い違いを解消する)。

発酵乳及び乳酸菌飲料の乳酸菌数の測定法について乳酸菌の至適温度を

考慮した測定法とする（培養温度を低くする）
コーデックス規格（国際食品規格）策定への参画
食品産業センターの食品産業コーデックス対策委員会、国際酪農連盟日本国内委員会（JIDF）の活動に参加した。
・食品産業センターコーデックス対策委員会（6月7日、1月20日）

（5）その他（事業計画外）

厚生労働省が進めている調製粉乳に不足する栄養素（ヨウ素、セレン等）の添加物指定作業に協力
・厚生労働省から説明及び要請（7月25日）
・調製粉乳技術小委員会開催（7月25日、10月15日、12月12日）

2）牛乳等衛生功労者の表彰

・8月2日（金）に選考会、11月15日（金）に表彰式を行った。
平成25年度の被表彰者、被贈呈者は以下の通り。

厚生労働大臣表彰： 2名
会長表彰： 11名
会長感謝状： 5名

2．牛乳・乳製品の普及啓発と需給の均衡

1）牛乳及び乳製品に関する知識の普及啓発に関する事業

牛乳・乳製品に対する消費者の満足・信頼の確保、理解度の促進に向け、以下の項目について、迅速・的確且つ能動的な活動を行った。

（1）放射性物質汚染に関する正しい知識啓発と理解促進

農畜製品の放射性物質汚染は、関係者の努力により低減されると共に出荷検査の徹底により、市場での安全性は確保されてきている。牛乳・乳製品に関しても消費者の不安もかなり払拭されてきており、問い合わせの件数も減少した。

今後も状況変化に対し、敏感・迅速な対応ができるよう常に現地情報、関連情報に注視し情報収集に努めていく。

（2）迅速正確な消費者相談業務の推進

牛乳・乳製品に関する正しい知識普及や啓発のため、消費者等からの牛乳・乳製品に関する質問に対し、随時、迅速丁寧な対応を行った。

また、問い合わせ内容のトレンド把握、対応の正確さの維持向上に向けた、乳業6社との情報交換を実施した。

相談件数は平成25年4月～平成26年3月で総数1565件（前年総数1855件）であった。

さらに、問い合わせ対応の充実に向けては相談員の知識向上に向けた勉強会等を行った。

なお、粉ミルクを製造する会社の協会員から、下記の記事についての通知と各社の問合せ状況についての質問があった。

【報道内容：女性自身 9月24日号 P60～61（9月10日発売）】

見出し：「(米国発)『汚染ミルク』(牛ヨーネ病)で難病『クローン病』患者が激増中！」

サブ見出し：日本の乳製品、粉ミルクの原材料は米国から「検疫なし」で輸入されていた 「毒食ルポ」第2弾
米国で蔓延する牛の伝染病「ヨーネ病」。牛乳にも含まれるその病原菌は、なんと人間に難病を引き起こすという「汚染乳」は日本にも大量に輸入されていた。

直ちに、広報委員会のメンバー各社と和光堂(株)への情報提供と入電状況のヒヤリングを実施した。同時に国内外の情報収集を行い、生産技術部と連携して、この記事の内容に対する当協会のスタンスを決定し関係各社に対し、文書を発信した。消費者等からの問い合わせに対して、各社とも混乱なく対応することができた。

(3) 酪農乳業ペンクラブとの相互協力による迅速な情報収集と発信

・酪農乳業ペンクラブ研修会

7月4日～5日：

日本の酪農乳業の中心的地域である北海道十勝を訪問し、工場のリニューアルが完了した「よつ葉乳業(株)十勝主管工場(音更町)」の見学・意見交換及びこだわりのチーズ製造で注目されている「共働学舎新得農場(宮嶋望代表)」の講話および見学を中心に行った。

11月20日：

ペンクラブとして、迅速な状況変化への対応および情報発信に向け、行政より「最近の酪農乳業事情」に関するご講演をいただくと共に、双方向のコミュニケーションを円滑に行うべく懇親を深めた。

・酪農乳業ペンクラブ懇談会

酪農乳業ペンクラブ、乳業メーカーの広報担当者及び当協会による牛乳・乳製品の情報受発信を担う関係者との良好な双方向のコミュニケーションの充実を図るべく懇談会を行っている。

8月29日：

メーカー3社広報担当者出席のもと「アンテナショップで『乳』を食す。」をテーマに、チーズをメインにした料理で夏季懇談会を実施した。

2月6日：

御殿場テトラパック合同会社 御殿場工場、キリンディスティラリー富士御殿場の見学も含めた「新年懇談会」を実施した。

(4) マスコミ取材対応(主なもの、電話取材・書面回答を含む)

・TPP関連

5月8日：東洋経済(交渉への要望と関税撤廃の影響)

5月20日：テレビ朝日(関税撤廃の影響等)

10月11日：WEDGE(関税撤廃の影響等)

・牛乳月間関連

7月25日：デイリージャパン(牛乳月間における当協会の取り組み)

・飲用向け乳価改定関連

9月3日：デイリーマン(乳価改定に関しての見解)

10月11日：WEDGE(牛乳価格改定の背景)

・消費税率改正関連

10月9日：酪農乳業速報(消費税増税の影響と対応)

・その他

5月29日：酪農経済通信(BSE清浄国設定の所感)

(5) 乳協会員及び関係団体との連携強化の推進

当協会会員共通課題について、会員と連携を取りながら、消費者、行政、メディア等ステークホルダーに対し積極的な対応を進めた。

普及啓発活動に関しては、関係団体等との目的の共有化、業務の棲み分け、連携等に関し情報交換を行い、効率的運営を行なうべく検討を進めた。

Jミルク、中酪との連携として関連資料の共有化、各々のセミナーにおける相互協力等を検討、一部実施した。

・「おいしいミルクセミナー」におけるJミルク、中酪の後援

中酪：PRスピーチとブース出展

・第75回「牛乳・乳製品から食と健康を考える会」でのJミルク役員の講演

8月26日：テーマ「乳価改定の背景と牛乳・乳製品への転嫁について」

講師：Jミルク丸山常務理事

・Jミルク「牛乳食育研修会」の講師選定の協力

- ・ Jミルクが取りまとめた牛乳・乳製品の栄養健康機能（エビデンス）情報の当協会会員への周知（当協会HP等）

（6）普及啓発ツールの管理と内容の検討

会員各位の「普及・啓発活動」および「食育活動」に必要なリーフレット・資料について内容確認の上、一部増刷を行った。

また、Jミルクが牛乳・乳製品の栄養健康機能（エビデンス）について取りまとめたリーフレット等の資料についても、積極的な活用および会員への周知を図った。

（7）牛乳・乳製品から食と健康を考える会（時宜を得たテーマでの実施）

平成24年度からオピニオンリーダーを情報発信力のある11名（平成23年度は21名）に絞り込み、少人数による活性化を図って実施している。

受講スタイルから参加発言スタイルに変わり、活発な発言の場となり、今年度計画していた以下の4回を終了した。内容については、ホームページに掲載している。

第74回牛乳・乳製品から食と健康を考える会（5月13日実施）

テーマ：「食品表示一元化について」

演者：消費者庁食品表示課 今川正紀課長補佐

第75回牛乳・乳製品から食と健康を考える会（8月26日実施）

テーマ：「乳価改定の背景と牛乳・乳製品への転嫁について」

演者：Jミルク 丸山 章常務理事

第76回牛乳・乳製品から食と健康を考える会（11月18日実施）

テーマ：「乳製品の国際需給の動向について」

演者：前独立行政法人農畜産業振興機構 畜産需給部長 野村俊夫様

第77回牛乳・乳製品から食と健康を考える会（2月17日実施）

テーマ：「食品とがん - 乳製品を含めて - 」

演者：名古屋市立大学 津田洋幸 特任教授

2）牛乳・乳製品の食文化を育成・啓発する事業(公益目的支出計画)

（1）「おいしいミルクセミナー」の開催

平成25年度は、

これまで開催頻度が少なかった地域をカバーすることを念頭に、東北地区、四国地区、北陸地区、九州地区の4地域での開催とし、お土産品の削減、開催都市及びホテルの内容及び費用の見直しを行い、平成24年度とほぼ同程度の総費用で行う。

昨年度の応募者が高年齢者の比率が高かったことから、30歳代の消費者および栄養士を目指す学生（専門学校生）の参加を促す目的で、開催時間を13時から10時半に早め、参加者の低年齢化の可能性をみる。

関係団体との連携強化の目的で、中酪からの後援としてスピーチ、ブース展示、資料等の提供をいただく。（24年度からの継続）

会員企業の参加促進、自社および商品の積極的PRの機会としてメーカーによるミニプレゼンテーションタイムを設け、メーカー参加意識の高揚を図る。

の上記4項目に力点を置き実施した。（6月3日、17日、28日、7月11日実施）

すべての会場で、募集人数を大きく上回る応募数があり、且つ開催時間の変更が奏功し、若い主婦層などの参加増も実現することができた。加えて、各地域の協力をいただくなか充実したイベントとすることができた。

（2）工場見学会開催の推進と支援

より多くの消費者に工場を見て身近に感じていただくために、6月の「牛乳月間」のみに絞り込まず、年間を通して実施している小学生等による工場見学、工場独自のイベント等に対しても、可能な限りPR資料、グッズの支援等を行った。

本年度は44工場の参加をいただいた。

（3）食育授業等による牛乳・乳製品の食文化を育成する事業

小中高校生を対象とする食育授業

・東京、関西エリアでの食育授業

相談員による食育授業を推進している。開催数は、200回以上を計画し、平成25年4月～平成26年3月の実施数は、予定数を越える239回であった。

・東京、関西エリア以外での食育授業

東京、関西エリア以外での食育授業等への活用を目的に、現在実施の食育授業「わくわくどきどきミルク教室」をモデルとした普及・啓発用のDVDを作成し、9月上旬に各会員に配布した。尚、本DVDは7月に日本PTA全国協議会、8月に農林水産省の推薦を得たので、ジャケットにその旨を記載した。

また、11月22日に44都道府県会員に、本DVDに関するアンケート調査を実施し集計した。大多数の会員からご回答を頂き、内容に関しては大変好評あった。

学校・教育・食育関係者を対象とする食育勉強会(通年)

・開催数は、70回を計画。平成25年4月～平成26年3月の実施数は予定を大幅に上回る87回であった。

栄養を専攻する大学生等を対象とする3-A-Day実践・推進セミナー

・開催数は、年間12回を計画。平成25年4月～平成26年3月の実施数は予定通りの12回であった。

市民講座や料理学院等への相談員派遣業務

・派遣回数は、10回を計画。平成25年4月～平成26年3月の実施数は15回であった。

都道府県協会会員との協同による育成・啓発活動

・本事業は平成23年度からの実施事業で、都道府県協会会員主催の「畜産フェア」等のイベントで「骨密度測定」や相談員による栄養指導を実施し、牛乳・乳製品の普及・育成・啓発を推進した。平成25年度は10協会から申し込みを受け、全件を採択した。実施状況は、下記の通り。

協会名	実施日	イベント名	来場者数
(一社)北海道乳業協会	平成25年7月2日・12日	中学生対象骨密度測定事業	181名 (中学生)
岩手県牛乳協会	平成25年9月14日・15日	ミルクフェア2013いわて	194名
愛知県牛乳協会	平成25年9月26日	高校生の骨密度測定体験	296名 (高校生・教職員)
鳥取県牛乳協会	平成25年9月29日	大山まきば祭	315名
(一社)埼玉県乳業協会	平成25年10月5日	彩の国畜産フェア2013	182名
和歌山県牛乳協会	平成25年10月6日	平成25年度わかやま食と健康フェア	218名
(一社)神奈川県乳業協会	平成25年10月12日・13日	ちくさんフードフェア	773名
秋田県牛乳協会	平成25年10月31日～11月6日	ミルクフェア2013(第136回秋田県種苗交換会共催)	1405名
(一社)広島県乳業協会	平成25年11月10日	Milk Japan in ひろしま2013	100名
(一社)福岡県牛乳協会	平成26年3月2日	平成25年度学校給食フェア	163名 (親子)

「やなせたかしキャラクター」の契約

- ・Jミルクの契約終了に伴い、継続使用に関し、「キャラクターマーク広告使用契約書」の締結を行った。会員各位および関係団体各位に「やなせたかしキャラクター」の積極的な活用を図った。
- ・その他：やなせたかし作家活動60年「やなせたかし大全（製作中）」（フレーベル館）および10月13日死去に関連して、TBSからの「3 - A Day」キャラクター使用要請に対し、これを了承するとともに資料提供した。

3) 需給の均衡

(1) 牛乳・乳製品の需給予測

5月22日、9月13日、12月13日、2月12日に需給委員会を開催し、需給予測結果をホームページに掲載した。また、農林水産省と農畜産業振興機構に同予測結果を報告し、必要な対応について要請した。

(2) 乳製品需給の過不足対応

今年度のカレント分としてバター3,500トン、脱脂粉乳8,800トンが輸入された。今後、乳製品の不足が予想される中、平成26年度分カレントの前倒しによるバター3,000トン、脱脂粉乳5,000トンの輸入入札が2月に実施された。

3. 国際化への対応

1) 業界意見の集約（乳業基本問題検討委員会）

TPPについて、4月22日に農林水産省と意見交換を実施した。その後、内閣府からの意見要望の集約依頼を受けて会員から提出いただいたものを当協会の基本スタンスとともに事務局で取りまとめ、乳業基本問題検討委員会委員に確認の上、7月17日に意見要望を提出した。

提出意見

農業は、自然環境に密着した産業であり、諸外国のそれとは環境も歴史も文化的にも異なるため、単純に取り引きの同一条件下で競うことに無理があり、国ごとの価値観を尊重すべきである。よって、こうした主張を行うと共に、TPP交渉における乳製品の扱いについては、4月19日の国会決議（引き続き再生産が可能となるような除外又は再協議の対象とすること。10年を超える期間をかけた段階的な関税撤廃を含め認めない事）に沿った交渉を厳守願いたい。

交渉の中で、酪農・乳業経営の持続に支障が生じる可能性が確認された場合は、交

渉の撤退も視野に入れるべきと考える。

聖域が守られても、現行の自由化商品や関税枠対象商品の関税率低下や枠の拡大は、国内の酪農・乳業に大きなマイナスの影響を与えるため、国内対策を含め十分な配慮をお願いしたい。

聖域が守られないような交渉は論外であるが、聖域が守られたとしても合意内容によっては、現行の法律や枠組み等、国家介入型の農政を含め、根本的な見直しを迫られることになる。よって、交渉内容やその進捗については遅滞なく公表され、その可否決定に際しては、国民議論と合意のプロセスを踏むことを求めたい。

2) 行政への提言・意見具申

12月5日に行われた「食料・農業・農村政策審議会 畜産部会」の場でTPP交渉参加問題に対し「農業者も食品製造者も将来展望を描くことのできるビジョンや政策等をしっかりと議論し、国民の合意の後に、その方向性が定められるのが道筋」という当協会の考え方を、中野会長が意見として申し述べた。

4. 環境・リサイクル対策の推進

1) 環境問題への取り組みに関する事業

企業の社会的責任の増大と共に、環境問題への取り組みが益々重要となってきた。当協会では、環境委員会・ワーキングの開催を通して、会員への情報提供のため最新の情報収集、会員相互の情報交換、共同取り組みの機会の創出等を図りながら、環境問題への取り組みを行っている。

平成25年度事業計画の進捗状況は下記の通り

(1) 地球温暖化防止の取り組みに関する事業

2012年度のエネルギー使用原単位指数は1.04で生産量の増加に比べ、エネルギー使用量の増加が抑えられ、前年度比で約2%改善した。しかし、排出量については電力換算係数の上昇、生産量の増加、製品構成の変化(乳製品の増加と市乳製品の減少)等により115.9万トンと前年比で約2%増加した。尚、各社企業の燃料転換、省エネ活動等の努力によつてのCO2削減効果は4.1万トンであった。これらの調査結果については環境自主行動計画フォローアップ(温暖化対策編)報告書として9月5日に経団連に提出した。

今後は、委員会、当協会HPの会員専用サイト等を通して省エネルギー、省CO2活動の協力要請を行うと共にCO2削減に繋がる優良な取り組み事例の紹介等、会員企業間の情報交換に取り組んでいく。

(2) 循環型社会形成推進の取り組みに関する事業

2012年度の最終処分量の実績は1,310トン、再資源化率96.43%であった。この数値は2011年度のそれぞれの実績1,680トン、再資源化率95.82%を上回り、当協会の2020年度環境自主行動計画の目標数値96.00%をも上回る成果であった。引き続き、これらの数値を維持、向上していくように推進していく。

また、2011年度より取り組みが開始された「北海道地区プロジェクト」及びに「関西・山陽地区プロジェクト」等については、各社に呼び掛け、処理コスト削減等の共同取り組みに参画いただいている。

(3) CO2排出量の見える化の取り組みに関する事業

生乳、原材料、製造、物流から廃棄工程までを含む「牛乳」のライフサイクルを通したCO2排出量の見える化を推進するため、認定された「牛乳」PCR(商品種別算定基準)を基礎にしたCO2排出量簡易算定ツールを作成し、10社でテストを行った。使い勝手等を改良し、会員HPに掲載した。

(4) 環境マネジメントシステムの向上に関する事業

環境委員会の環境マネジメントワーキングで作成した「環境マネジメントデータベース」の会員への普及を図った。

2) 容器包装の3Rへの対応に関する事業

容器包装リサイクル法の見直しに関して、特定事業者の再商品化費用負担役割の一部変更、選別保管費用についても事業者負担とする動き等があり、見直しに向けて注視していく必要がある。

このような動きに対して、乳業界として容器包装の3R活動を更に推進し、特に牛乳用紙パックの再商品化委託費用免除の継続を要望していく。

平成25年度事業計画の進捗状況は下記の通り

(1) 飲料用紙パックリデュース活動の推進

「500ml牛乳用パックに使われている原紙の重量(平均坪量)を2015年度までに314gから305gに約3%軽量化する」との目標を共有し、軽量化仕様の500ml牛乳用パック普及促進を支援してきた。

2012年度の達成率は1%となり、前年度の0.3%に比べ向上したが、目標に対する達成率は約33%であった。

更なる普及促進を目指し、今年3月に協力要請文書を作成し、当協会HPに掲載すると共に文書発信を行った。引き続きさらなる軽量化仕様500ml牛乳用パックの普及を促進していく。

(2) 飲料用紙パックリサイクル活動の推進

当協会として全国牛乳容器環境協議会(容環協)の取り組みを支援し、容環協の自主行動計画であるPLAN2015の「2015年度までに紙パック回収率を50%以上にする」との目標を共有し、活動支援を行っている。

2012年度の回収率は44.2%であった。

9月より、容器包装リサイクル法の見直し審議が始まった。審議内容の把握に努めるとともに、容環協の取り組みを支援し、紙パックの再商品化義務免除の継続等を要望していく。

(3) 3R推進団体連絡会及び食品産業センターの活動への参画

3R推進団体連絡会の意見交換会など、主体間連携のための共同取り組みに参画した。また、食品産業センター環境委員会等に参画し、乳業としての意見、要望の反映に努めた。

5. 乳業事業の改善と合理化の推進

1) 「食料・農業・農村基本計画」「酪肉近基本方針」等の推進に関する対応

食料・農業・農村政策審議会畜産部会については、第1回が12月5日、第2回が12月19日、第3回が2月17日、第4回が3月24日に開催され、中野会長が出席した。第1回の同畜産部会において、「生乳生産基盤の回復・強化と牛乳消費維持・拡大、乳製品需給の安定」について発言した。また、第3回からは「酪肉近基本方針」等の見直し議論が開始され、第4回の同畜産部会では、「乳資源確保と酪農乳業の持続的発展に向けて」という内容で資料説明を実施した。

3つの課題については、3月末を目途として最終とりまとめを実施しており、その後、当協会HP会員サイトで公表予定である。

2) 乳業再編事業への参画と推進

乳業再編事業の公募に対して5月16日に応募、6月1日に計画が採択された。8月7日と3月4日に全国協議会、企画検討委員会を同時開催した。また、9月と10月に全国7農政局管内で説明会を実施した。また、取り組みを強化するため、農林水産省から、都府県に対して、説明会が実施された。

6. 事業共通の取り組み

1) ブロック会議及び全国事務局長会議の開催

(1) ブロック会議

ブロック会議を上期、下期2回開催し、当協会の事業内容の周知と意見交換を行った。開催時期と会議内容は、下記の通りである。

【平成25年度上期ブロック会議】

- ・開催期間 : 6月26日～8月8日にかけて全国8ブロックで開催
- ・会議内容 : 平成25年度事業計画について

【平成25年度下期ブロック会議】

- ・開催期間 : 2月13日～3月18日にかけて全国8ブロックで開催
- ・会議内容 : 平成25年度活動状況について
平成26年度事業計画案について

(2) 全国事務局長会議

12月13日に下記内容で開催した。

- ・平成25年度中間事業活動について
- ・平成26年度事業計画骨子について
- ・都道府県協会からの要望、質疑応答

2) ホームページの充実、情報伝達の迅速化のさらなる推進

(1) 「各省庁、他団体からの発信情報」「協会運営、会議情報」「講習会情報」「ブロック会議における要望・質問と回答」「需給予測」などを迅速に掲載した。

(2) 新たな取り組みとして、会員などの申し込み手続きの利便性向上などの観点から、「日本乳業年鑑 資料編」の購入申し込みを従来の紙ベースから当協会ホームページによる申し込みに変更した。

(3) 当協会ホームページの活用を促進するため、当協会スタッフをメンバーとするホームページ運営会議を2013年12月より、開始した。

3) ワールドデイリーサミット(WDS)2013開催への協力

(1) 10月28日から11月1日まで、横浜で開催されたWDS2013について開催・運営に協力するとともに、当協会独自のブースを出展し当協会活動等のPRを行った。

(2) Jミルクより、WDS2013への乳業者等の参加を促進する目的で、乳協、連合、農乳協の3団体に対し、参加助成の案内があり、参加希望会員の取りまとめを行った。日本乳業協会会員(都道府県協会の傘下会員等を含む)の参加は、35名(延べ参加日数58日)となった。

以上

《会議等開催実績》

・総会及び理事会等

開催日	開催名
平成25年 4月19日	第9回理事会
" 5月17日	第2回定時社員総会
" 8月 3日	第10回理事会
" 3日	平成25年度牛乳等衛生功労者表彰式選考会
" 10月18日	第3回賛助会員の会
" 11月15日	第11回理事会、会員企業代表者会議
" 15日	牛乳等衛生功労者表彰式
" 12月13日	全国事務局長会議
平成26年 1月 7日	乳業団体合同新年賀詞交換会
3月 7日	第12回理事会

・その他

1. 会員の総会等への出席

開催日	開催名
平成25年 4月24日	九州牛乳協会総会（長崎市）
" 5月 9日	長野県牛乳協会総会（長野市）
" 27日	茨城県乳業協会総会（土浦市）
" 6月27日	新潟県飲用牛乳協会設立60周年記念祝賀会（新潟市）
" 9月 4日	正栄食品工業株式会社新社屋竣工祝賀会（東京都）

2. ブロック会議

開催日	開催名
平成25年 6月26日	関東・甲信越地区（於：茨城県）
" 7月 3日	東海・北陸地区（於：岐阜県）
" 4日	近畿地区（於：大阪府）
" 10日	九州・沖縄地区（於：福岡県）
" 12日	北海道地区（於：札幌市）
" 18日	四国地区（於：愛媛県）
" 22日	中国地区（於：広島県）
" 8月 8日	東北地区（於：山形県）
平成26年 2月13日	関東・甲信越地区（於：東京都）
" 17日	近畿地区（於：大阪府）
" 20日	東海・北陸地区（於：富山県）
" 24日	東北地区（於：福島県）
" 3月 5日	九州・沖縄地区（於：福岡県）
" 10日	中国地区（於：山口県）
" 14日	北海道地区（於：札幌市）
" 18日	四国地区（於：徳島県）

・企画・広報部

【企画関係】

1. 乳業基本問題検討委員会関連

開催日	開催名
平成25年 4月22日	牛乳乳製品課長と会長の意見交換会（TPPについて）
〃 12月 2日	第1回 乳業基本問題検討委員会
〃 25日	牛乳製品課と乳業の意見交換会 （チーズ向用途の補給金単価対象組入について）
平成26年 3月12日	第2回 乳業基本問題検討委員会

2. 需給委員会関係

開催日	開催名
平成25年 5月10日	第1回 需給委員会
〃 9月12日	第2回 需給委員会
〃 12月12日	第3回 需給委員会
平成26年 2月12日	第4回 需給委員会

3. TPP関係

開催日	開催名
平成25年 6月17日	TPP説明会（業界の意見集約について）
〃 7月17日	TPPに関する意見発信
〃 9月 9日	TPP説明会（ブルネイ交渉報告）
〃 10月16日	TPP説明会（バリ交渉報告）
〃 12月 2日	TPP説明会（主席交渉官会合報告）
〃 25日	TPP説明会（シンガポール閣僚会議報告）
平成26年 3月 5日	TPP説明会（シンガポール閣僚会議報告）

4. 乳業再編事業関係

開催日	開催名
平成25年 8月 7日	全国協議会+企画検討委員会
〃 9月10日	関東農政局管内・地域説明会
〃 17日	近畿農政局管内・地域説明会
〃 25日	北陸農政局管内・地域説明会
〃 26日	東北農政局管内・地域説明会
〃 10月1日	東海農政局管内・地域説明会
〃 2日	中四国農政局管内・地域説明会
〃 3日	九州農政局管内・地域説明会
平成26年 3月 4日	全国協議会+企画検討委員会

5. 「食料・農業・農村基本計画」「酪肉近基本方針」推進関係

開催日	開催名
平成25年 4月17日	共通包材分科会
〃 24日	粉ミルク備蓄分科会
〃 25日	工場稼働分科会
〃 25日	共通包材分科会
〃 7月17日	3分科会横断会議
〃 26日	粉ミルク備蓄分科会
〃 9月24日	粉ミルク備蓄分科会
〃 10月 9日	工場稼働分科会
〃 11日	共通包材分科会

6. Jミルク事業関係

開催日	開催名
平成25年 5月13日	第1回 Jミルク需給会議
" 7月18日	第2回 Jミルク需給会議
" 10月18日	第3回 Jミルク需給委員会
" 12月13日	第4回 Jミルク需給委員会
平成26年 1月10日	第5回 Jミルク需給委員会

【広報関係】

1. 広報委員会

開催日	開催名
平成25年 5月13日	第1回広報委員会
" 8月26日	第2回広報委員会
" 11月18日	第3回広報委員会
平成26年 2月17日	第4回広報委員会
" 3月11日	臨時 広報委員会

2. 連絡会議関係

開催日	開催名
平成25年 4月10日	4月度東京連絡会
" 11日	4月度関西連絡会
" 5月10日	5月度東京連絡会
" 6月 7日	6月度東京連絡会
" 12日	6月度関西連絡会
" 7月 9日	7月度東京連絡会
" 8月 7日	8月度関西連絡会
" 9日	8月度東京連絡会
" 9月 6日	9月度東京連絡会
" 10月 8日	10月度東京連絡会
" 9日	10月度関西連絡会
" 11月 8日	11月度東京連絡会
" 12月 6日	12月度東京連絡会
" 11日	12月度関西連絡会
平成26年 1月15日	1月東京連絡会
" 2月 7日	2月東京連絡会
" 12日	2月関西連絡会
" 3月 7日	3月東京連絡会
" 25日(2日間)	第1回東西相談室会議および研修

3. 酪農乳業ペンクラブ関係

開催日	開催名
平成25年 4月18日	酪農乳業ペンクラブ幹事長打合せ
" 5月27日	酪農乳業ペンクラブ幹事会
" 7月 4日(2日間)	酪農乳業ペンクラブ総会・研修会(北海道十勝)
" 25日	酪農乳業ペンクラブ幹事会
" 8月29日	酪農乳業ペンクラブ夏季懇談会
" 9月 3日	デイリーマン取材
" 11月20日	酪農乳業ペンクラブ秋季研修会
平成26年 2月 6日	酪農乳業ペンクラブ新年懇親会・研修会(御殿場)
" 3月27日	酪農乳業ペンクラブ幹事会

4. 「牛乳・乳製品から食と健康を考える会」

開催日	開催名
平成25年 5月13日	第74回「牛乳・乳製品から食と健康を考える会」
" 8月26日	第75回「牛乳・乳製品から食と健康を考える会」
" 11月18日	第76回「牛乳・乳製品から食と健康を考える会」
平成26年 2月17日	第77回「牛乳・乳製品から食と健康を考える会」

5. Jミルク事業関係

開催日	開催名
平成25年 5月15日	牛乳乳製品需要創出会議
" 8月 6日	第1回「牛乳乳製品新規利用促進会議」
" 24日	第1回「マーケティング委員会」
" 9月13日	第2回「牛乳乳製品新規利用促進会議」
" 13日	第2回「マーケティング委員会」
" 12月12日	第3回「マーケティング委員会」
平成26年 1月30日	第4回「マーケティング委員会」
" 3月10日	牛乳の日・牛乳月間関係団体打合せ
" 18日	Jミルクブロック会議

6. その他

開催日	開催名
平成25年 12月9日	家電業界との異業種交流会

・生産技術部

1. 生産技術委員会

開催日	開催名
平成25年 6月 5日	栄養表示基準一部改正に係るパブリックコメントに意見提出
" 7月25日	調製粉乳に係るヨウ素、セレン等に係る厚労省との打合せ
" 10月15日	調製粉乳技術小委員会
" 12月11日	栄養表示に係る消費者庁との打合せ
" 12日	調製粉乳に係るビオチンに関する厚生労働省との打合せ
平成26年 1月20日	牛乳の比重と酸度に関する厚生労働省との打合せ
" 2月27日	調製粉乳に係る微量栄養素指定に関する厚労省との打合せ

2. 乳製品表示検討委員会

開催日	開催名
平成25年 11月19日	乳製品表示検討委員会
平成26年 3月12日	乳製品表示検討委員会

3. 牛乳衛生講習会（地方協会との共催）

開催日	開催名
平成25年 7月 9日	牛乳衛生講習会（東京都千代田区）
" 30日	"（山形県西村山郡河北町）
" 8月 7日	"（静岡県静岡市）
" 19日	"（福岡県福岡市）
" 20日	"（岐阜県岐阜市）
" 21日	"（愛知県名古屋市）
" 22日	"（群馬県前橋市）
" 27日	"（埼玉県さいたま市）
" 9月12日	"（香川県高松市）
" 19日	"（岩手県九戸郡洋野町）
" 25日	"（広島県広島市）

開催日	開催名
平成25年10月4日	牛乳衛生講習会(北海道札幌市)
" 9日	" (福島県福島市)
" 11月6日	" (長野県長野市)
" 11日	" (千葉県千葉市)

4. HACCP講習会

開催日	開催名
平成25年5月29日(3日間)	牛乳HACCP講習会(東京)
" 6月12日(3日間)	" (神戸)
" 10月23日(3日間)	" (東京)
" 11月12日(3日間)	" (神戸)

5. 官能評価員育成研修会

開催日	開催名
平成25年7月11日(2日間)	官能評価員育成研修会(第1回 東京都千代田区)
" 8月8日(2日間)	" (第2回 東京都千代田区)
" 10月10日(2日間)	" (第3回 東京都千代田区)
平成26年1月30日(2日間)	" (第4回 東京都千代田区)
" 2月6日(2日間)	" (第5回 兵庫県神戸市)
" 3月13日(2日間)	" (第6回 兵庫県神戸市)

6. 牛乳微生物講習会

開催日	開催名
平成25年1月22日	牛乳微生物講習会(東京)
" 24日	牛乳微生物講習会(大阪)

7. 外部会議への出席

開催日	開催名
平成25年4月16日	東京飲用牛乳協会「品質改善委員会」
" 18日	全国飲用牛乳公正取引協議会「専門部会」
" 22日	Jミルク「平成25年度ポジティブリスト委員会」
" 6月7日	食品産業センター「コーデックス対策委員会」
" 11日	東京飲用牛乳協会「品質改善委員会」
" 7月10日	Jミルク「平成25年度ポジティブリスト委員会」
" 22日	Jミルク「生乳検査精度管理委員会」
" 9月27日	"
" 10月1日	Jミルク「平成25年度ポジティブリスト委員会」
" 11日	全国飲用牛乳公正取引協議会「専門部会」
" 17日	東京飲用牛乳協会「品質改善委員会研修会」
" 12月18日	(一財)食品産業センター「HACCP支援法 業種別・品目別合同会合」
平成26年1月9日	全国飲用牛乳公正取引協議会「第1回専門部会小委員会」
" 16日	(公財)日本乳業技術協会「HACCP支援法に関する業界団体打合」
" 16日	東京飲用牛乳協会「品質改善委員会」
" 16日	JIDF「食品規格専門部会/コーデックス乳・乳製品部会合同会議」
" 17日	(公財)日本乳業技術協会「HACCP支援法 高度化基盤整備事項取り纏め」
" 2月28日	全国飲用牛乳公正取引協議会「第2回専門部会小委員会」
" 3月27日	全国飲用牛乳公正取引協議会「第3回専門部会小委員会」

8. 各種審議会・懇談会等の傍聴

開催日	開催名
平成25年 5月 8日	薬事・食品衛生審議会 食品衛生分科会食品規格部会(水)
" 6月 25日	消費者委員会 第24回食品表示部会
" 28日	農林水産省 食品安全セミナー(微生物編)
" 7月 31日	" (化学物質編)
" 8月 1日	日本食品衛生協会 食品衛生懇話会
" 19日	食品安全委員会(ビオチン)
" 30日	関東農政局 改正HACCP支援法説明会
" 9月 3日	厚生労働省 食品製造におけるHACCPによる工程管理の普及のための検討会
" 5日	消費者庁 食品表示法説明会
" 18日	関東農政局 平成25年度食品事業者表示適正化技術講座
" 24日	食品安全委員会添加物専門調査会(ビオチン)
" 25日	フードセーフティジャパン2013
" 26日	厚生労働省 食品製造におけるHACCPによる工程管理の普及のための検討会
" 30日	NPO法人食科協 表示説明会
" 10月 28日	ワールドデイリーサミット
" 30日	乳容器・機器協会セミナー
" 11月 7日	消費者庁 食品表示基準策定方針等に関する説明会
" 18日	(公社)日本食品衛生協会 ノロウイルス食中毒の予防と対策講習会
" 28日	消費者委員会 第27回食品表示部会
" 28日(2日間)	全国乳業協同組合連合会 総合衛生管理製造過程の承認取得と衛生管理に関する研修
" 12月 4日	消費者委員会 食品表示部会 栄養表示調査会
" 25日	消費者委員会 食品表示部会 加工食品表示調査会
平成26年 1月 20日	(一財)食品産業センター 第59回食品産業コーデックス対策
" 21日	乳容器・機器協会 乳等省令勉強会
" 23日	消費者委員会 食品表示部会 加工食品表示調査会
" 29日	厚労省 薬事食品衛生審議会食品衛生分科会
" 2月 3日	第5回日本人の食事摂取基準(2015年版)策定検討会
" 5日	厚労省 薬事食品衛生審議会食品衛生分科会乳肉水産食品部会
" 25日	JIDF 国際会議出席報告会
" 26日	乳容器・機器協会 セミナー
" 3月 3日	(公社)日本食品衛生協会 食品衛生特別講演会
" 18日	(一社)Jミルク ブロック会議
" 20日	消費者委員会 食品表示部会 加工食品表示調査会
" 26日	消費者委員会 食品表示部会 調査会中間報告

・環境部

1. 環境委員会他

開催日	開催名
平成25年 4月 9日	第1回プラ推進協広報・啓発委員会
" 17日	第1回環境委員会
" 25日	第1回プラ推進協企画委員会
" 26日	3R推進活動フォーラム第8回総会
" 5月 8日	第1回牛乳LCA検討WG、第1回自主行動計画推進WG
" 9日	紙推進協理事会、プラ推進協理事会

開催日	開催名
平成25年 5月15日	第1回環境マネジメントWG
" 20日	食品産業センター容り分科会
" 28日	LL紙パブリックリサイクル推進研究会運営委員会
" 6月 5日	紙推進協総会
" 6日	経団連自主行動計画フォローアップ説明会
" 10日	関東農林水産関連企業環境対策協議会 総会
" 11日	第2回プラ推進協広報・啓発委員会
" 13日	LL紙パブリックリサイクル推進研究会運営委員会
" 18日	食品産業センター容り分科会
" 19日	第2回環境委員会
" 21日	第2回プラ推進協企画委員会
" 27日	日本容器包装リサイクル協会提示評議会
" 7月10日	第2回自主行動計画推進WG
" 11日	食品産業センター環境配慮設計WG
" 16日	食品産業センター容り分科会
" 19日	LL紙パブリックリサイクル推進研究会全体会議・情報共有化勉強会
" 30日	プラ推進協リーフレット作成分科会
" 31日	食品リサイクル合同部会傍聴
" 8月 5日	第2回牛乳LCA検討WG、第2回環境マネジメントWG
" 6日	第3回プラ推進協広報・啓発委員会
" 21日	第3回環境委員会
" 23日	LL紙パブリックリサイクル推進研究会運営委員会
" 23日	第3回プラ推進協企画委員会
" 9月 5日	第4回プラ推進協広報・啓発委員会
" 10日	食品産業センター容り臨時分科会、第3回自主行動計画推進WG
" 17日	食品産業センター容り分科会
" 19日	LL紙パブリックリサイクル推進研究会運営委員会
" 20日	熊本県プラ推進協意見交換会
" 10月 1日	第5回プラ推進協広報・啓発委員会
" 15日	食品産業センター容り分科会
" 16日	第4回環境委員会
" 23日	経団連地球環境部会
" 25日	LL紙パブリックリサイクル推進研究会施設見学会
" 28日	経団連廃棄物リサイクル部会
" 11月 5日	経団連地球環境部会
" 6日	食品産業センター環境委員会
" 15日	食品ロス削減商慣習検討WG
" 21日	第4回自主行動計画推進WG
" 22日	第3回LCA検討WG、第3回環境マネジメントWG
" 12月 4日	第5回環境委員会
" 5日	LL研究会運営委員会
" 10日	第6回プラス推進協広報・啓発委員会
" 11日	納期期限見直しパイロットプロジェクト中間報告会及び食品ロス削減のための商慣習検討WG傍聴
" 18日	食品産業センター容り分科会
" 24日	環境自主行動計画（循環型社会形成編）2013年度フォローアップ調査報告
平成26年 1月16日	500ml紙パブリックリデュース推進会議
" 21日	食品産業センター容り分科会
" 24日	第4回環境マネジメントWG
" 24日	LL研究会臨時運営委員会

開催日	開催名
平成26年 1月28日	第5回乳協自主行動計画推進WG
" 2月 3日	プラ推進協3R推進セミナー
" 12日	第7回プラ推進協広報・啓発委員会
" 13日	食品リサイクル法見直し合同会合傍聴
" 19日	第6回環境委員会
" 21日	第4回牛乳LCA検討WG
" 21日	経団連環境自主行動(温暖化対策編)第三者評価委員会ヒヤリング
" 25日	経団連低炭素社会実行計画フォローアップ調査意見交換会
" 28日	経団連環境自主行動(循環型社会形成編)打合せ会
" 3月 3日	経済産業省容リWG第8回合同会合傍聴
" 6日	経団連廃棄物リサイクル部会
" 7日	LL研究会運営委員会
" 13日	納期見直しパイロットプロジェクト、食品ロス削減商習慣検討第3回会合傍聴
" 19日	第5回環境マネジメントWG
" 24日	文部科学省訪問、学乳用紙パックリサイクルの推進要請
" 25日	食品産業センター容リ分科会
" 25日	経団連環境委員会

2. 全国牛乳容器環境協議会関係

開催日	開催名
平成25年 4月 3日	3R推進団体連絡会運営委員会
" 4日	台1回総務委員会
" 5日	第1回イベント委員会
" 10日	第1回広報委員会
" 17日	4月次運営会議
" 25日	第63回理事会・第22回総会
" 5月 7日	第2回支部組織委員会
" 9日	第2回総務委員会
" 10日	第2回広報委員会・第2回イベント委員会
" 15日	第1四半期運営委員会
" 27日	3R推進団体連絡会運営委員会
" 30日	飲紙協：理事会・総会
" 31日	栃木県茂木小学校出前授業
" 6月 1日(2日間)	環境省主催エコライフフェア出展
" 6日	第3回総務委員会
" 12日	広島県広島市立牛田新町小出前授業
" 13日	第3回イベント委員会・第3回広報委員会
" 15日(2日間)	愛知県リーフウォーク稲沢店エコ博出展
" 19日	6月次運営委員会
" 21日	3R推進団体連絡会市民リーダー育成
" 7月 1日	第4回総務委員会
" 5日	紙パックリサイクル促進地域会議in埼玉
" 8日	第4回広報委員会
" 11日	第3回支部組織委員会
" 12日	第4回イベント委員会
" 17日	7月次運営委員会
" 26日	3R推進団体連絡会岡山県意見交換会
" 27日	なかのZERO紙パックリサイクル講習会
" 31日	相模原市親子リサイクル体験教室

開催日	開催名
平成25年 8月 4日	エコプロダクツ2013川越市出展
" 7日	エコプラザ西東京市紙パックリサイクル講習会
" 8日	第5回広報委員会
" 9日	第5回イベント委員会、3R推進団体連絡会市民リーダー育成
" 21日	第2四半期運営委員会
" 27日(3日間)	大阪府内自治体(大阪、堺、高槻、東大阪、吹田)他訪問
" 9月 2日	札幌市環境局訪問、道栄製紙株式会社視察訪問
" 3日	札幌市雑がみ組成調査
" 4日	3R推進団体連絡会運営委員会
" 11日	第5回総務委員会・第4回支部組織委員会・第6回イベント委員会
" 12日	第6回広報委員会
" 13日	愛知県児童厚生員研修会
" 18日	9月次運営委員会、紙すき講習会
" 19日	第1回容リ改正合同部会傍聴
" 22日(2日間)	仙台市ララガーデン長町ララ秋の文化祭イベント出展
" 25日	3R推進団体連絡会市民リーダー育成会議
" 10月 2日	3R推進団体連絡会運営会議
" 7日	第6回総務委員会
" 9日	島根県松江市立鹿島東小出前授業
" 10日	第7回イベント委員会
" 11日	第7回広報委員会
" 15日	第2回容リ改正合同部会傍聴
" 16日	10月次運営会議
" 22日	環の縁結びフォーラム
" 25日	3R推進団体連絡会意見交換会
" 29日	第3回容リ改正合同部会傍聴
" 11月 6日	3R推進団体連絡会運営会議
" 6日	第7回総務委員会
" 7日	第8回イベント委員会
" 8日	牛乳パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール1次審査
" 9日	第8回広報委員会
" 11日	栃木県芳賀町立芳賀小出前授業
" 13日	紙パックリサイクル促進地域会議in大阪
" 14日	福祉作業所「アクティビティひびき」視察
" 15日	3R推進団体連絡会市民セミナー(四ツ谷)
" 18日	農水省食品容器包装リサイクル懇談会傍聴
" 19日	第4回容リ改正合同部会傍聴およびヒアリング
" 19日	富山県富山市立新庄小出前授業
" 20日	紙製容器包装リサイクル推進協議会理事会
" 20日	第3四半期運営委員会
" 21日	牛乳パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール本審査会、実行委員会
" 26日	第9回イベント委員会
" 26日	3R推進団体連絡会市民リーダー育成
" 27日	3R推進団体連絡会臨時運営会議
" 27日	愛媛県製紙工場「イトマン(株)」視察
" 28日	香川県三豊市立松崎小出前授業
" 28日	愛媛県製紙工場「愛媛パルプ協同組合」視察
" 12月 3日	3R推進団体連絡会運営会議
" 3日	第8回総務委員会
" 4日	経団連懇談会

開催日	開催名
平成25年12月 4日	12月次運営委員会
" 5日	第5回容リ改正合同部会傍聴およびヒアリング
" 12日(3日間)	エコプロダクツ2013出展
" 16日	第9回広報委員会
" 17日	第5回支部組織委員会
" 19日	第6回容リ改正合同部会傍聴およびヒアリング
" 20日	第64回理事会
" 26日	第2回農水省食品容器包装リサイクル懇談会傍聴
平成26年 1月 7日	第10回広報委員会
" 8日	3R推進団体連絡会運営会議(飲紙協)
" 9日	第10回イベント委員会
" 9日	3R市民リーダー会議
" 10日	第9回総務委員会
" 15日	1月次運営委員会
" 29日	市原市ちはら台桜小学校出前授業
" 2月 4日	第10回総務委員会
" 6日	第26回飲料用紙パックのリサイクル促進意見交換会
" 10日	第11回イベント委員会
" 12日	第11回広報委員会
" 14日	江戸川区篠崎小出前授業
" 18日	第7回容リ法改正合同会合傍聴
" 19日	第4回四半期運営委員会
" 20日	牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール2014WG会議
" 20日	3R推進フォーラム・川崎
" 3月 3日	第8回容リ法改正合同会合傍聴
" 6日	第11回総務委員会
" 8日	ニトリモール相模原店リサイクル啓発出展
" 12日	第12回広報委員会
" 12日	3月次運営委員会
" 19日	第12回イベント委員会
" 25日	第65回理事会
" 29日(2日間)	伊勢丹松戸店リサイクル啓発出展

以上

事業報告に係る附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。